

『努力の壺』



人は何かに挑戦しようとするとき、『努力の壺』が与えられるという。その大きさは人それぞれに異なり、どのくらいの大きさなのかは本人にはわからない。その壺の中に努力を入れていき、その努力があふれた時に、物事が達成できるという。今回の英検で準2級に合格した野津原中学校3年の上村日那乃さんにどのような努力を入れたのか尋ねてみました。（裏面に『努力の壺』の話を掲載しています。あわせてご覧ください。）

F:フォレストゼミナール U:上村さん

F: 準2級合格おめでとう。試験を受ける前、合格の可能性は何%ぐらいだと思っていましたか。

U: 50%ぐらいです。

F: 合格とわかった時、どんな気持ちでしたか。

U: うれしかったです。また、今までやってきてよかったという達成感がありました。

F: 合格へ向けたトレーニングで、最も効果的だと思うのはどのような取り組みですか。

U: 1か月間毎日おこなった『DUO Select』での音読練習です。これで、文の流れや前置詞のつけ方がスツと入ってきました。

F: 今回の取り組みであなたは英語がもっと好きになりましたか。

U: はい。英語の点数が上がってって、クラスでも英語が得意な方に入りましたし、長文を読むのが楽しくなりました。

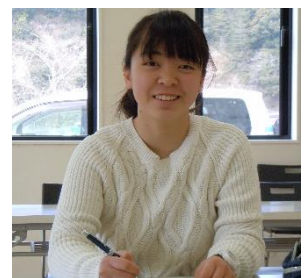
F: 最後に、誰か英検に挑戦しようとしている人がいたら、あなたはこのゼミナールを勧めますか。

U: もちろんです。細かいところも、わからない単語も、文のつくりも、英検用のレッスンを通して十分に理解できました。

F: ありがとう。君の頑張りならば、高校生の間に2級以上を取ることが出来ます。高校でも頑張ってください。



おすすめの
DUO Select



野津原中学校3年生
上村 日那乃さん

保護者会開催のお知らせ

下記の日程で保護者会を開催します。保護者だけでなく、兄弟姉妹の見学もOKです。

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 期 日：3月6日（月） | 小学5年生の保護者対象 |
| 3月8日（水） | 小学6年生、七瀬ボーイズ1年生の保護者対象 |
| 3月9日（木） | 中学2年生の保護者対象 |
| 3月10日（金） | 中学1年生の保護者対象 |

時間帯：通常授業の後半の30分間に参加していただきます。

内 容：①授業の様子

②指導方針とこれからの目標について

③来年度の授業内容について

④その他

これはある1年生の児童「努力のつぼ」という作文。

（出典：朝日作文コンクール「子どもを変えた親の一言」作文25選 明治図書）

努力のつぼ

角野愛

「お母さん、努力のつぼの話、またして。」

「うん、いいよ。今度はなあと。」

「逆上がり。」

「あらあら、まだいっぱいになっていなかったのね。随分大きいねえ。」

と言いながら、お母さんは椅子を引いて、私の前に座りました。そしてもう何回もしてくれた努力のつぼの話をまたゆっくりと始めました。それはこんな話です。

人が何か始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、神様から努力のつぼをもらいます。

そのつぼはいろんな大きさがあって、人によって、時には大きいやら小さいのやら色々あります。そしてそのつぼは、その人の目には見えません。でもその人がつぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか「努力」が溢れる時、つぼの大きさが分かるということです。だから休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできる時がくるのです。

私はこの話が大好きです。幼稚園の時、初めてお母さんから聞きました。その時は、横ばしこの練習をしている時でした。それから一輪車や、鉄棒の前回り、跳び箱、竹馬。何でも頑張ってやっている時お母さんに頼んでこの話をしてもらいます。

くじけそうになった時でも、この話を聞いていると、心の中に大きなつぼが見えてくるような気がします。そして私の「努力」がもう少しで溢れそうに見えるのです。だからまた頑張る気持ちになれます。

お母さんの言うとおり、今度の逆上がりのつぼは、随分大きいみたいです。逆上がりを始めてから、もう2回もこの話をしてもらいました。でも今度こそ、あと少しで溢れそうな気がします。だから明日からまた頑張ろうと思います。

お母さんは

「つぼが大きいととても大変だけど、中味がいっぱいあるから、あなたのためになるのよ。」と言ってくれるけど、今度神様にもらう時は、もう少し小さいつぼがいいなあとと思います。

（※原文のひらがなの所を漢字に直しました。）